

サイバー・スマート バッジ実施要項

1. 趣 旨

ガールスカウト日本連盟は STEAM 教育の一環として、世界的なサイバーセキュリティ企業であるパロアルトネットワークス株式会社が開発した、ネットリテラシーを習得するセキュリティ教育プログラム「サイバー・スマート」を全国展開します。生まれた時からデジタル環境が身近にある子どもたちに必要不可欠な教育プログラムですが、現状ではまだ学ぶ機会が少ない状況です。このセキュリティ教育プログラム「Cyber A.C.E.S. Program (日本語版：初めてのサイバーセキュリティ)」により、多くの人が安全に安心してインターネットを使用できる社会を目指します。

2. バッジに取り組む背景

日本の STEAM 分野における女性の割合は、OECD の調査（2019 年）では 36 カ国で最下位となっています。また、ガールスカウトの調査では「理数系は男子」と思っている女子が 48%に達します。日本の女子の理数系の力は世界トップレベル（PISA2018）であるにもかかわらず、約半数の少女たちが苦手意識を持っていることが明らかになっています。また、日本の情報通信業で働く女性の割合も、27.9%と低水準です。

本プログラムは、これまでも複数の国の青少年団体に対して提供されてきたことを受け、少女はもちろんのこと、大人も学ぶ必要性があることから、導入にいたりました。

3. バッジ・対 象

	サイバー・スマートバッジ 1 赤 テンダーフット部門*・ブラウニー部門・ジュニア部門 シニア部門・レンジャー部門・成人会員
	サイバー・スマートバッジ 2 茶 ジュニア部門・シニア部門・レンジャー部門・成人会員
	サイバー・スマートバッジ 3 緑 シニア部門・レンジャー部門・成人会員
	サイバー・スマートバッジ 4 紺 レンジャー部門・成人会員

*テンダーフット部門は、これまで基本的にバッジ取得をしておりませんでした。保護者のタブレットやスマートフォンを使って動画を閲覧する機会などが増えており、ブラウニー部門になることを待たずに学ぶ機会の提供が必要と考え、テンダーフットから取り組めるようにしています。

4. 期 間

2024年5月～2027年3月

5. 着用方法

少女会員：取得したバッジは技能帯に付けます。

テンダーフット部門については衣服への着用を可能とし、ブラウニーにフライアップした時点で、バッジの意味についてリーダーから説明を受け、技能帯に着けることとします。

成人会員：ユニフォームに着用する場合、右胸もしくはピンホルダーに着用できます。

6. 申 請

少女会員	課題を終えたら、バッジと修了証を授与します。 バッジ申請書の「その他のバッジ」欄に○をつけて申請します。 ※リーダーがバッジをあらかじめ購入し、ガールスカウトがふりかえりをする際に修了証とバッジを一緒に授与するなど工夫してください。	
成人会員	プログラムに取り組んだら、所属連盟よりバッジを購入できます。 購入方法については、所属連盟にお問い合わせください。	

※修了証は会員向け情報 **会員・保護者**→**成人会員**→**活動のヒント**（主にリーダー向け）内「バッジプログラム」に掲載しています。ご活用ください。

https://www.girlscout.or.jp/members/all/seijin/act_hint/badge/

7. 指導者の教材

品名：初めてのサイバーセキュリティ
サイバー・スマートバッジ リーダーズガイド

商品コード：50190

A4判 164ページ

価格：1,500円＋税



8. 実施できる指導者について

ガールスカウトの指導者および協力者

このプログラムは、リーダーを中心として、ガールスカウトの教育が大切にしているポイントをご理解いただいた上で、専門家をはじめとする協力者（保護者、地域の方）をファシリテーターとして実施していただくことが可能です。

9. 課 題

各バッジ、4つのテーマから2テーマ以上に取り組みバッジを取得します。

プログラムの詳細は、リーダーズガイドでご確認ください。

テーマ：

- ・インターネット利用 (3 アクティビティあり)
- ・プライバシー (3 アクティビティあり)
- ・コミュニケーション (3 アクティビティあり)
- ・デジタル社会の責任 (3 アクティビティあり)

例：「インターネット利用」と「デジタル社会の責任」をそれぞれ 3 アクティビティ経験する。

なお、どれも大切なテーマであることから、バッジ取得に関わらず取り組む機会を提供できることが望ましいです。

以 上